

# 向学館通信

2005・11・28

12月はクリスマスや冬休みの時期です。生活のコントロールをしっかりとしましょう。遊び癖がついたり、生活の乱れを引きずらないようにしてください。

定期テストの時期の生徒は、計画的に勉強しましょう。塾へ来て自習をするなど頑張ってください。

## 「論理エンジン」の学習が始まりました

すでに10人以上の人が論理エンジンで本格的な国語力の強化にむけてスタートしました。この教材を使うと、私たち「教える側」の人間も、いろんなことを教えられるものだということが分かりました。

この教材は、最初に「主語と述語」から始まります。私たちは昔の教育を受けているものですから、主語・述語などは「わかっていて当たり前」と思っていました。学校でも教わることだし、国語文法のこんな初歩的なことは、ほとんどの生徒は分かっているだろうと思っていました。しかし、この教材を使っている生徒(下は小学校5年生から上は高校生まで)の多くは、主語・述語の関係を十分に理解できていなかったし、教えてもなかなか理解しにくいという人もかなりいました。

また、二番目にでてくる「修飾語・被修飾語」でも、どの言葉がどこに掛かっているか、なにを修飾しているかが分かりにくい生徒もいました。日本語の構造の一番の基礎のところ、しっかり理解させることがどんなに大事かを、改めて教えられた次第です。現在の学校教育だけでは、こうした論理的な理解力を育ててくれません。分かったのか、分からないのかの決め手のような所まで、論理的に詰めていくということのないまま、「分かったような感じ」だけで済ませているのが、これまでの国語教育だったと改めて思いました。

もし、こうした状態を放置したままでは、当然、英語の文法など分かるはずはありません。英語は、文法がわからなければ、高校以上になれば学校の授業に全くついていけなくなります。毎年、高校生で英語の成績が上がらないという人が来ますが、みな共通しているのは、文法が苦手です。そして、そういう人達に文法を教えても、入っていかないのです。頭が文法を受け付けられないのです。その根拠は、日本語の文法が理解できていない、ということです。

この教材を使って思い当たったことがもう一つあります。それは、古文の学習です。高校生は古文の文法に、たいいていの人が悩まされ、よく分からないまま、大変な労力と時間を費やしています。私は以前からこの学習はまるで「壮大な無駄」のようだと感じていました。この学習のお陰で、たいいていの生徒は古文嫌いになっていきます。わざわざ嫌いにさせる為にこんなに時間と労力をかけさせるのか、と憤慨していました。

現代文の文法が分からないのに、古典の文法が分かるわけがありません。英語の場合と全く同じです。

さて、気づいたことをもう一つ。これまでの文法の授業は文のきまりを「解釈」といった教え方だったと思います。ところが、これでは知識として(文法用語を幾つか覚えるなど)入ったかもしれないが、生きて使えるものにはなりません。ところが、論理エンジンでは、文をつくる、文章を書くなど、自分が文をつくる主体にさせられます。そして、書くことで初めて、文法の大事さや意義を了解していきます。文を書かせないで文法を教えても身についたものにならないということが分かりました。

論理エンジンは、国語の読解力を引き上げるだけでなく、英語や算数の文章題をよみとる力をも引き上げていくし、高校レベルでは古典にも強くなる教材だという思いを強めました。

## 『漢検』テストの準備はいいですか

次の『漢検』の実施日は来年1月28日(土)です。申し込みは、12月19日(月)までに行ってください。

漢字の勉強の仕方は、文字一字一字の意味をしっかりと覚えることが基本です。文字の意味が分からないまま、熟語を覚えようとする人がいますが、これは熟語が増えてくると記憶できなくなります。勉強の仕方の基本を守りましょう。